

宮古島市のあゆみ

2005
(平成17年)

- 10月・宮古島市誕生
- 11月・宮古島市長及び市議会議員選挙
・初代市長に伊志嶺亮氏が就任

2006
(平成18年)

- 2月・宮古島市誕生記念式典
- 3月・伊良部大橋着工
- 10月・市歌制定

2007
(平成19年)

- 6月・台湾・基隆市と姉妹都市締結
- 8月・5つの宮古島市都市宣言
(核兵器廃絶平和都市、交通安全都市、暴力追放都市、森林都市、ゆとり都市)

2008
(平成20年)

- 3月・第一次宮古島市総合計画策定
・「エコアイランド宮古島」宣言
- 7月・ふるさと納税の受付開始

2009
(平成21年)

- 1月・環境モデル都市に認定
・第2代市長に下地敏彦氏が就任
・市イメージキャラ「みーや」誕生

2010
(平成22年)

- 7月・全国高等学校総合体育大会
男子バレーボール競技開会式
- 10月・宮古島市市制施行5周年記念
式典・祝賀会

2011
(平成23年)

- 4月・「宮古島市海中公園」がオープン
- 5月・新葬祭場「宮古島市斎苑」落成
記念式典
- 10月・静岡県藤枝市と友好都市で提携、
災害時相互支援協定も締結

2012
(平成24年)

- 5月・第6回太平洋・島サミット
「高校生太平洋・島サミット」開催
- 7月・与那覇湾がラムサール条約
湿地登録される
- 11月・第111回九州市長会総会が
宮古島市で開催

2013
(平成25年)

- 1月・第3代宮古島市長に
下地敏彦氏が就任(再選)
- 6月・県立宮古病院が新築移転し
供用開始

2014
(平成26年)

- 4月・来間中学校が下地中学校に統合
・全日本トライアスロン宮古島大会
第30回を記念し「内閣総理大臣杯」が創設される

2015
(平成27年)

- 1月・伊良部大橋開通
- 3月・与那覇地区防災センター完成
- 9月・伊良部地区津波避難施設完成
- 10月・宮古島市市制施行10周年
記念式典・祝賀会

2016
(平成28年)

- 4月・新ごみ処理焼却施設の供用開始
・新宮古食肉センター落成
・マティダ市民劇場開館20周年

2017
(平成29年)

- 1月・第4代宮古島市長に
下地敏彦氏が就任(再選)
- 4月・第二次宮古島市総合計画策定
・JTA ドーム供用開始
- 8月・2016年度農業生産額が
過去最高の190億円突破
- 10月・栃木県市貝市との交流
都市締結

2018
(平成30年)

- 4月・伊良部漁協供用開始
- 11月・「宮古島のパートウ」
ユネスコ無形文化遺産へ登録
- 12月・宮古島市リサイクルセンター完成

2019
(平成31年)

- 3月・下地島空港旅客ターミナル
供用開始
・入域観光客数が過去最高の
114万人を記録
- 4月・結の橋学園開校
- 8月・宮古島市未来創造センター供用開始

2020
(令和2年)

- 6月・いらぶ大橋海の駅オープン
- 10月・宮古島市市制施行15周年



本市は2005年(平成17年)10月1日の合併を経て、本年で市制施行15周年を迎えます。

この期間は、「発展の15年」であり、平良市、城辺町、伊良部町、下地町、上野村の各々特色ある地域が一つとなり、農水産業、観光産業等、様々な分野で目覚ましい発展を遂げました。特に観光産業においては、平成27年1月の伊良部大橋の開通以後、観光客数が増加し、今や宮古島は全国的に人気観光地として知られるようになりました。

本来ならば、記念すべき節目を市民の皆様と祝したいところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、このような形となり心苦しく思います。しかしながら、苦難の時期も必ず去る時がまいります。令和3年の年明けからは、新たな庁舎が開庁します。これまで以上に効率的に、きめ細やかなサービスを市民の皆様へ提供できるよう、万全の準備を進めており、総合庁舎を中心とした新しい街づくりがスタートし、本市のこれからの発展の礎として、また、災害や感染症対策等、取り巻く課題に立ち向かう拠点になると確信しております。

現在、進めております第二次宮古島市総合計画の基本理念である「心かよう夢と希望に満ちた島 宮古(みやこ) みんなで創る 結いの島」を念頭に置き、皆様と本市を更に魅力あふれる島に育て上げるよう、共に歩んでいきたいと思っております。

宮古島市長 下地敏彦

おかげさまで宮古島市は 十五周年を迎えました

